しずおか報知

五輪初出場2人へ恩師がエール

常葉菊川高時 監督 大矢隆二さん

ソフトあす初戦

東京五輪のソフトボール女子日本代表は21日、オーストラリアとの初戦（午前9時、福島あづま球場）を迎える。23日の開会式に先立って全競技で最初に開幕する。常葉菊川高（現常葉大菊川高）出身の渥美万奈遊撃手（32）と山崎早紀外野手（29）＝ともにトヨタ自動車＝が、初の五輪に臨む。2人の高校時代にソフトボール部監督として指導した大矢隆二さん（53）＝国学院大教授＝が当時を振り返りながら、教え子にエールを送った。（内田　拓希）

昨年日本リーグMVP&2冠
長距離砲

長距離砲として日本代表のクリーンアップが期待される山崎（トヨタ自動車提供）

鉄壁遊撃
守備の要

遊撃手として華麗な守備を見せる渥美（トヨタ自動車提供）【下】2006年の全国選抜決勝で円陣を組む大矢さん右（背番号14が渥美）（ホワイトキャンパス提供）

山崎よ 渥美よ

「和と動」胸に 悔い残すな

「楽しんで」

―教え子たちが五輪に出場します。

「本当にうれしいです。2人には発表後、すぐに電話しました。それぞれ5分くらいの会話だったのですが、浮かれた様子は一切無かった。努力で代表を勝ち取った2人なので『東京五輪』という空間を楽しみ、存分に味わって欲しい」

―渥美選手は5年間、日本代表の正遊撃手として活躍し、昨季の日本リーグでは無失策の堅守で知られている。宇津木麗華監督（58）も「守備の要」と語っています。当時の印象は？

「すごく合理的で『社会人の選手がいる』感じでした（笑い）。入学時から高校球児のようなグラブさばきでしたし、グラブの磨き方一つから丁寧で、格好良かった。特進クラスに所属していて、勉強だけでも十分、大学に行けるレベルでした（高校卒業後にトヨタ自動車入り）。3年生の時は主将で後輩たちは『渥美さんみたいになりたい』と思っていたのでは」

―山崎選手は20年日本リーグでMVP、首位打者、打点王を獲得した長距離砲で、日本代表でもクリーンアップとして活躍しています。当時の山崎選手は？

「身体能力がすごく高かった。実は、中学時に最初は走り幅跳びの選手として陸上部の先生が視察していたんです。スイングも速かったのですが、バットコントロールなど技術的にはまだ粗削りで、お姉さん（1学年上の奈美佳さん）に付いて行っている感じでした。ただ、素直で、教えられたことを物にするものにしようと一生懸命でした」

―どのようなご指導を？

「私は東海大相模（神奈川）の野球部出身で、亡くなられた原貢先生に大きな影響を受けています。原先生に教えていただいたことを基盤に、現代の子たちに合うようにアレンジしました」

―原先生の教えとは？

「大きく分けて『一流選手になるには当たり前のことを当たり前に』『学内と地元に愛されるチームに』『日本一になるのにふさわしいように』の3つです。『和と動』※という原先生から教えてもらった言葉をタイトルにして、選手に日誌を書かせていました」

―2人が書いた「和と動」日誌で思い出す内容は？

「私は大会前に気合を入れた練習をしてけが人が出てしまうこともあったのですが、ある日、渥美が『先生は大会前になると激しい練習をしますよね』と書いてきました（笑い）。思い当たる部分があったので、本人と話して理解してもらった。それぐらい賢い子なんですよ」

―五輪で2人に期待することは？

「メダルを目指すのはもちろんですが、2人にとって初めての五輪を、悔いのないようにプレーをしてほしい。ソフトボールのチケットを持っていたので、無観客は残念ですが、テレビで見守りたいと思います」

※原貢さんが発案した言葉で、19年からプロ野球・巨人軍公式サイトによれば『和』はチームワークやチームを愛する心、『動』は個々のパフォーマンス」の意があるとしている。

◆渥美　万奈（あつみ・まな）1989年6月15日、浜松市生まれ。32歳。蒲小入学前に競技を始め、曳馬中、常葉菊川高（現常葉大菊川）を経て08年トヨタ自動車入り。代表初招集は12年。16年以降は代表の正遊撃手。球際に強く、華麗な守備で魅了する。16、18年世界選手権で銀。右投左打。167㌢。

◆山崎　早紀（やまざき・さき）1991年11月12日、掛川市生まれ。29歳。西郷小2年で競技を始める。常葉菊川（現常葉大菊川）から10年トヨタ自動車入り。16年に代表デビューし18年世界選手権は3番打者として打率2割9分6厘、2本塁打で銀メダル獲得に貢献。20年日本リーグMVP、首位打者、打点王。右投右打。170㌢。

◇ソフトボール日本代表の東京五輪日程◇（Lはリーグ）

日	ラウンド	相手	時間
21	1次L	オーストラリア	9:00
22	〃	メキシコ	12:00
24	〃	イタリア	20:00
25	〃	カナダ	14:30
26	〃	米国	10:00
27	〃	未定	13:00
	3決	〃	13:00
	決勝	〃	20:00

※会場は21、22日は福島あづま、24日以降は横浜スタジアム

卓球水谷美誠 磐田市が激励

磐田市出身五輪出場選手への激励金贈呈式が19日、磐田市役所で行われた。卓球男子の水谷隼（32）＝木下グループ＝の母・万記子さんと、女子・伊藤美誠（20）＝スターツ＝の祖父・健一さん、祖母の町子さんが出席し、草地博昭市長らから激励を受けた。

本番では、今大会から採用される混合ダブルスに水谷と伊藤がペアを組んで出場する。万記子さんは「前回（男子シングルスで銅メダルを獲得したリオ五輪）は磐田でパレードをしていただいた。メダルを獲得して、みなさんにまた見てもらえれば」と願った。

磐田市の激励会に出席した（左から）草地市長、水谷万記子さん、伊藤健一さん、町子さん

絶好強打 シード

今日3回戦

第103回選手権静岡大会は難なく8球場合が行われる。計32安打23絶好調な島田の磐田東と対続3安打をマ4番の鈴木航を軸に、22年進出を目指すシード食い

った。現チーとは練習試合戦。鈴木は「格も大きくて高い」とした

とは変わらな通りやれば勝禍でも応援しや先生方に結きれば」と表た。

1回戦・磐席連続ソロを打点。2回戦安打3打点をなぐ意識、セ意識で打っての延長がホーている」。チらマスコットの3種類のバれ20秒間振り素振り」を導

（8月16～19日・福井県立久々子湖漕艇場）

4秒追いつかれ

わずかの差で逃した頂点を取りに行く。浜松西の沖、内山ペアは3月の全国選抜

点で後続を4秒近くゴール前で瀬田工（滋賀）に逆転を許し、0・38秒差の2位となった。同部初のペア種目での全国選抜制覇はならなかったが、内山は「大差から追いついた相手の精神力がすごかった。い

に向けた糧にした

最大の武器は上西智紀監督（41）が「全国トップ」と評する先行力だ。沖は「ボートは後ろ向きに進む競技なので、他チームとの差が分かるのは先頭だけ」と有利な先行からの逃げ切りに

原イズム

作ってみんなで戦う喜びがある」と加藤学園のエース渡辺は胸を躍らせている。175㌢、96㌔。大型ではないが、1年夏から団体戦のレギュラーを務めてきた。普段の乱取りでも「大きい相手の方が得意です」

大型選手「得意」

2年ぶりの晴れ舞台だ。柔道は3月に全国高校選手権が開かれたが、男女とも個人戦のみ。5人が力を合

と、100㌔超級の仲間を大内刈りなどの足技で次々と倒していく。岡本謙治監督（44）も「全国の経験が豊富」と活躍を期待する。昨年7月には校内に新し

団体戦と個人

内山は「最初はついて行くのに必死だった」と、当初は経験者だった沖にペースを合わせることに苦戦するも冬のトレーニングで力強いストロークを身に付

結成した。高校から競技を始めた内山は「最初はついて行くのに必死だった」と、当初は経験者だった沖にペースを合わせることに苦戦するも冬のトレーニングで力強いストロークを身に付